



# アクシス耐震スリット

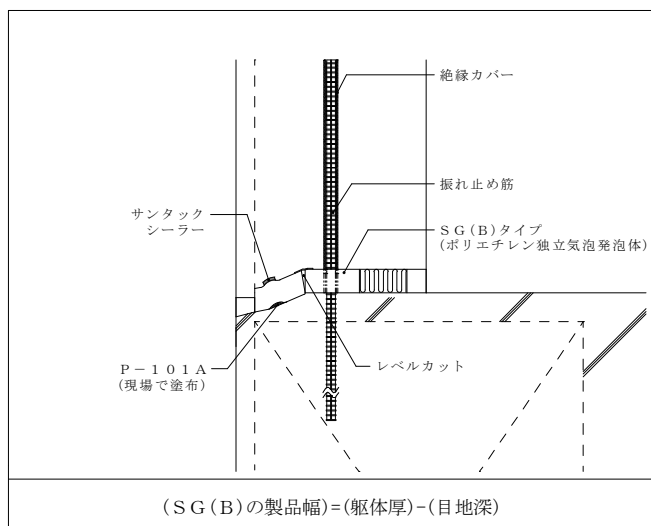
## 施工マニュアル

レベルテーパー タイプ  
耐火・サンタックシーラー付 仕様

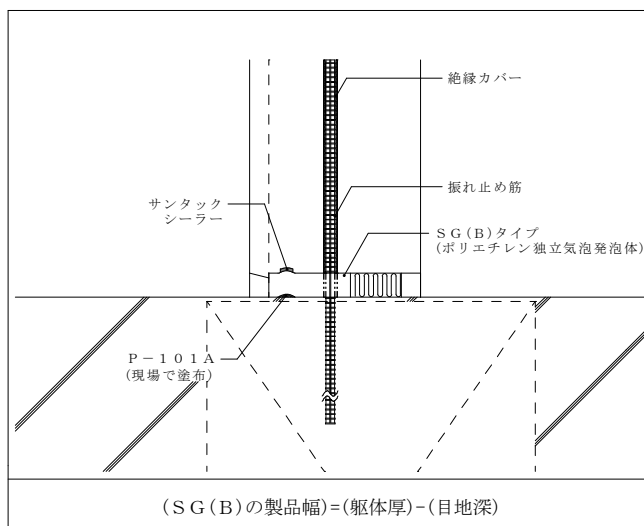
# 水平スリット 製品規格

| 型式 品種・寸法 (mm)              |        |              |                               |
|----------------------------|--------|--------------|-------------------------------|
| 厚み                         | 製品幅    | 定尺           | 左記以外の厚み、または製品幅をご希望の場合はご相談下さい。 |
| 15・20・25・30<br>35・40・45・50 | 80～500 | L-2, 025 (M) |                               |

## ■妻側完全水平スリット (レベルテーパー)



## ■完全水平スリット



## ■水膨張性一液弾性シーラント P-101A

|   |            |
|---|------------|
|   | 主成分        |
|   | ウレタンプレポリマー |
| <p>打継部の止水に対して、上部生コンクリートと接する部分は、サンタックシーラーで一体化を図り、下部の打継面は不陸がある為、液状の水膨張性一液弾性シーラントの低膨張タイプP-101Aを充填すると、コーキングが切れた際の止水対策として有効です。</p> |            |

# 妻側完全水平スリット 勾配タイプ (レベルテーパー) の場合

**1**

振れ止め筋は、設計図書通りに取り付けて下さい。

型枠に目地棒を固定する。

**2**

目地棒の上にレベルテーパーを取り付け、長めの丸釘で100以降200ピッチ程度で型枠に固定する。  
※浮き防止の為、目地棒に向けても釘で固定する。

**3**

コンクリート打設後、レベルテーパーの天端レベルで、コンクリートをならす。

《コンクリート打設時の注意》  
ジャンカを防ぐ為、外部側からハンマーで型枠を打つ際、その衝撃によりレベルテーパーが浮き上がる危険性があります。型枠を打った後は、必ずご確認下さい。

**4**

振れ止め筋が位置する箇所に切り込みを入れて下さい。

型枠解体後、壁の型枠を建て込み、コーキング用の目地棒設置する。

スリット取付部の清掃を行います。  
P-101Aを塗布して下さい。

**5**

サンタックシーラーのりけい紙を剥がす。

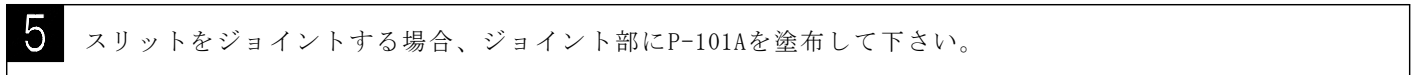
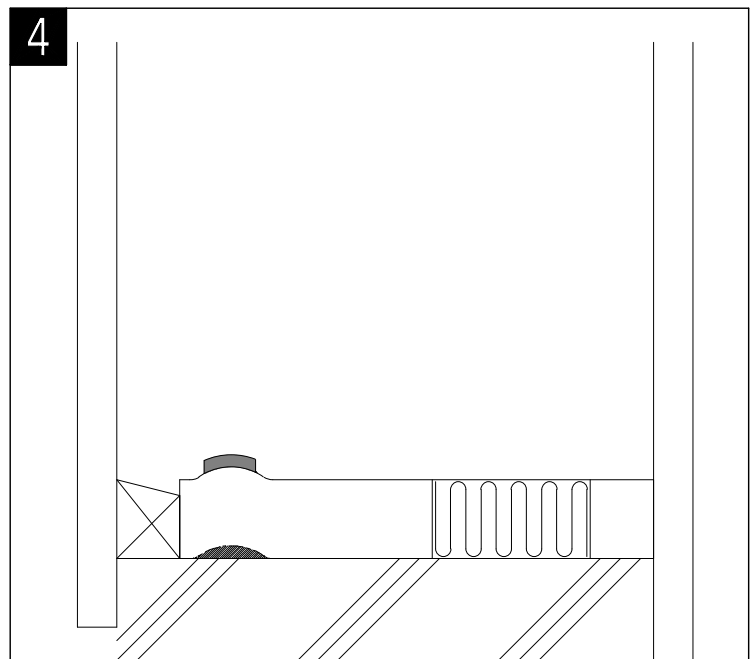
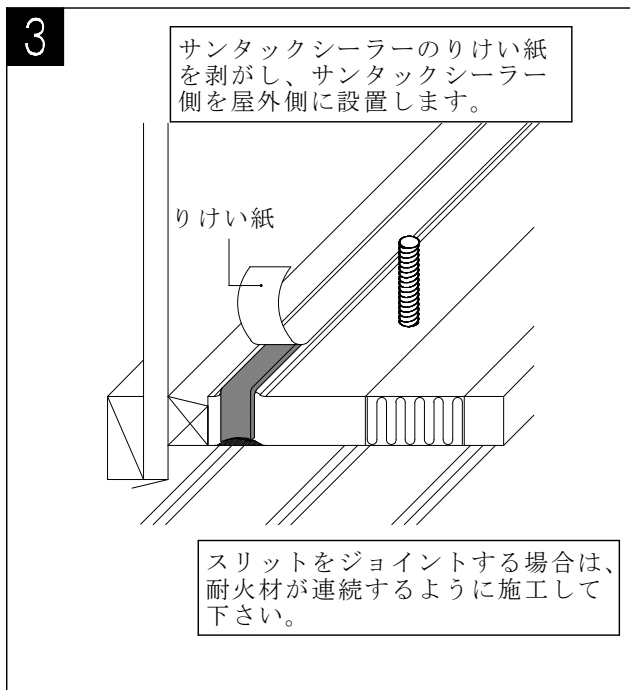
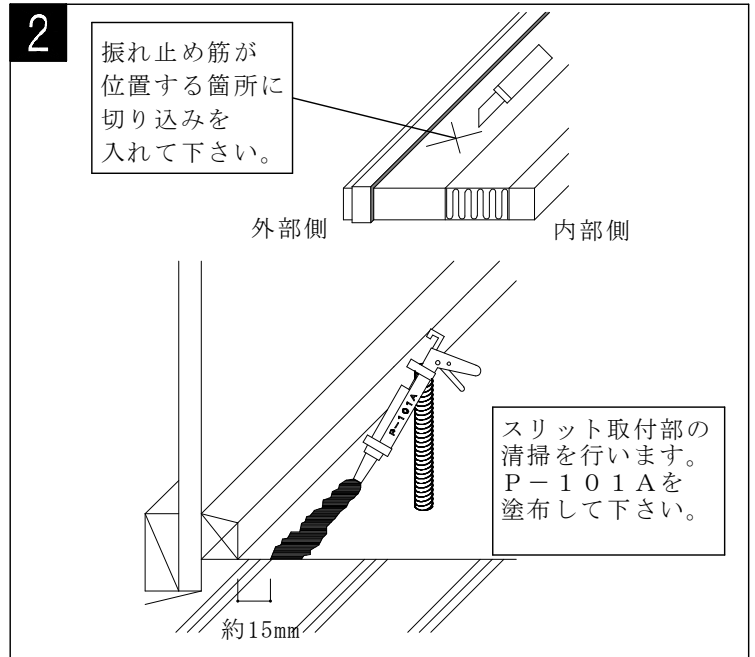
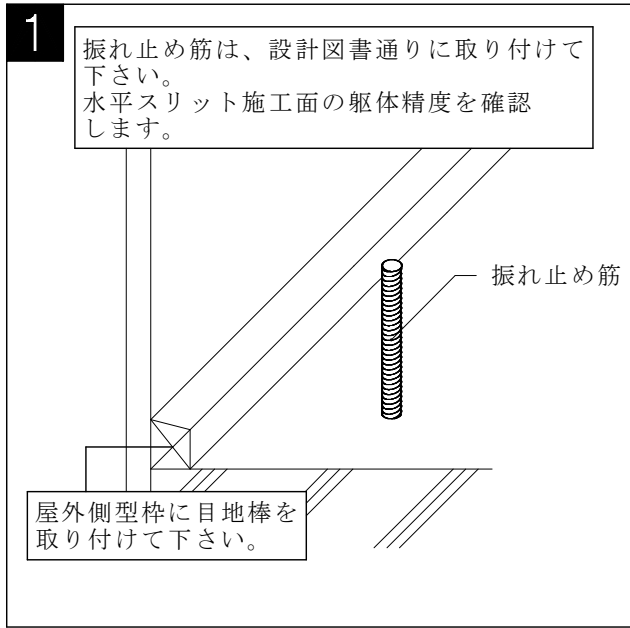
りけい紙

テープ

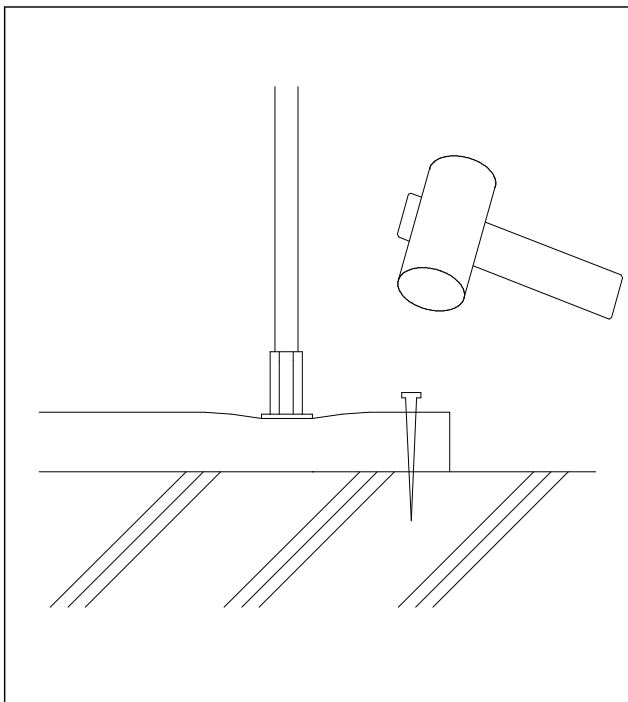
スリット材を設置し、レベルカットの切れ目をテープで目張りする。

**6**

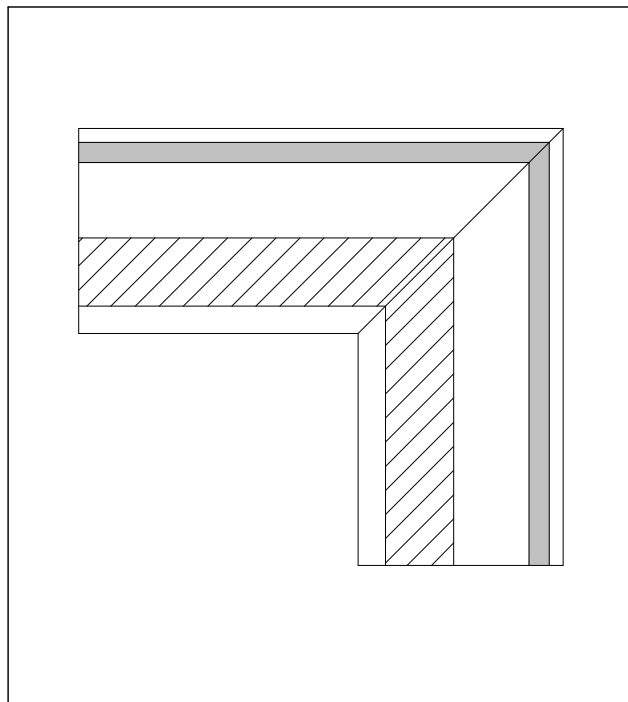
# 完全水平スリット



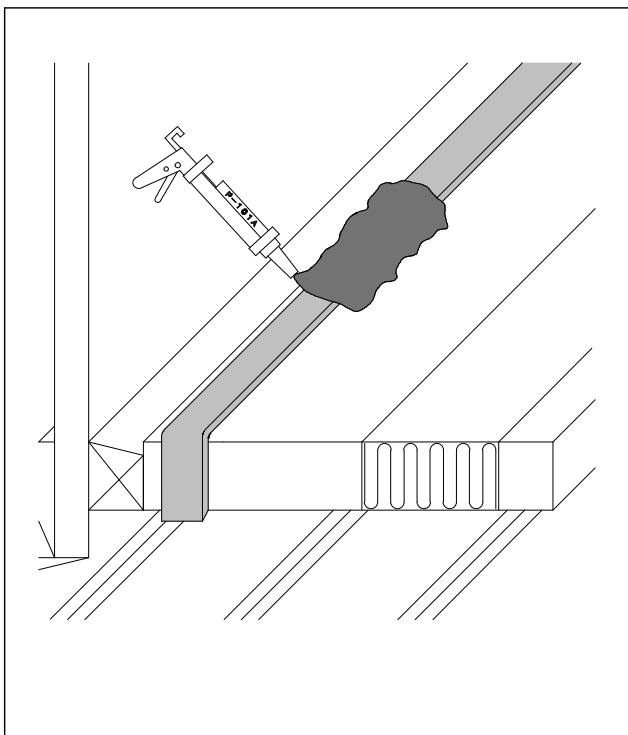
● 標準施工例 ●



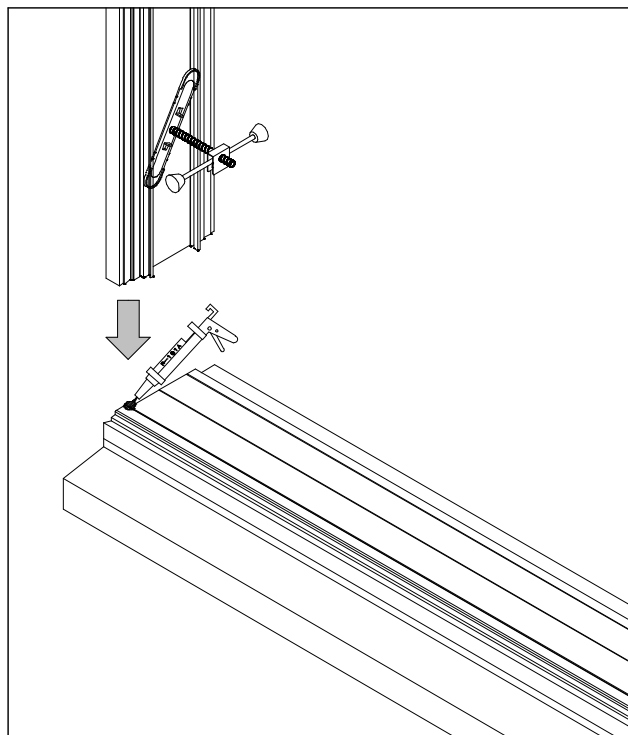
壁配筋の過重により、水平スリットの端部が反り上がってしまわない様、コンクリートに釘で固定して下さい。



耐火材、サントックシーラーが不連続になる場合は、水平スリットを斜めにカットし、耐火材、サントックシーラーを連結させて下さい。



サントックシーラーが剥がれてしまった場合は、P-101Aを充填して下さい。



水平スリットの上に必ず垂直スリットをセットし、小口部分にはP-101Aを充填して下さい。